



飯田OIDE長姫高等学校は統合創立10周年を迎えました。

幅広い教養と高い専門性を追求し、社会に開かれた学びをととして、
平和な未来に貢献できる心豊かな人間を育成する

教 育 目 標

■ 全日制

ひとづくり(豊かな情操を育む人間形成)
生命の尊厳を自覚し、真理と正義を愛する知識・教養・創造性豊かな人間の育成に努力する
ものづくり(付加価値の創造)
独創(Originality)・想像(Imagination)・工夫(Device)・努力(Effort)の精神を尊重し、
工業・商業両分野における「ものづくりの拠点校」としての役割を果たす
学校づくり(充実した学びの場の構築)
安心・安全な学校(いじめ・体罰のない)をめざすとともに、
環境教育や総合技術高校としての専門教育の推進等による特色ある教育システムを構築する。

■ 定時制

不登校・外国由来の生徒などを受け入れる中で、安心して学習できる場を確保しながら、
生徒が社会的に自立していける力を育む。

【教育重点目標】

- 1 ライフスタイルや学習状況に合わせた学習支援と基礎学力の定着
- 2 特別支援の充実と、いじめ・体罰のない安心・安全な学校づくり
- 3 生徒を社会へつなげるためのしくみづくり



長野県飯田OIDE長姫高等学校

飯田OIDE長姫高等学校同窓会

橋北支部	羽場支部	松尾支部	川路支部	鼎支部	大鹿支部	浪合支部	下條支部	天龍支部	駒ヶ根支部	関西支部
橋南支部	座光寺支部	竜丘支部	龍江支部	上郷支部	豊丘支部	清内路支部	泰阜支部	遠山郷支部	北信支部	
東野支部	伊賀良支部	下久堅支部	千代支部	松川支部	喬木支部	平谷支部	阿南支部	中川支部	中部支部	
丸山支部	山本支部	三種支部	上久堅支部	高森支部	阿智支部	根羽支部	売木支部	飯島支部	関東支部	

飯田OIDE長姫高校10周年

「この10年の想いがこれからの歴史をつくる」



飯田OIDE長姫高等学校創立10周年記念
須山 和彦
理事長

初めの夢を達成し、生徒たちが、この10年の想いを、これからの歴史につくる。須山理事長の言葉は、私たち教職員にとっても、大きな励みとなっている。...

「地域産業を担う人材育成をめざして」



飯田OIDE長姫高等学校
校長 松原 均

空が澄み渡るような秋。本校は平成29年11月に長野県飯田工業高等学校と統合し、飯田OIDE長姫高等学校としてスタートしました。...

「創立10周年を迎えて」



生徒会長 福澤 麗

平成29年誕生の飯田工業高校と飯田OIDE長姫高校が統合し、飯田OIDE長姫高等学校として生まれ変わりました。...

「定時制通信制高等学校生徒生活体験発表大会に参加して」



定時制 基礎工学科
4年 前澤 稜太

匿名にある定時制通信制高等学校の生徒生活体験発表大会に参加しました。...



統合10周年記念で校歌碑



飯田OIDE長姫高校校歌碑が、本校校舎前庭に設置されました。...

同窓会寄贈「シンボルに」

飯田OIDE長姫高校同窓会が、本校校舎前庭に校歌碑を寄贈しました。...



Table with 2 columns: Event Name and Schedule. Includes '統合創立10周年記念式典・祝賀会スケジュール' and '祝賀会'.

飯田OIDE長姫高校10周年



旧飯田長姫と旧飯田工業の統合により、県内初の総合技術高校として2013年に開校した飯田OIDE長姫高校が10周年を迎え、実行委員会は7日に統合創立10周年記念式典を飯田文化会館で開く。全日制6科と定時制1科があり、教育方針は「幅広い教養と高い専門性を追究し、社会に開かれた学びを通して平和な未来に貢献できる豊かな人材を育成する」。地域産学官や異業種と協働して新しい付加価値を創造する「協創力」、探求型プロフェッショナル「高度な専門性」、未来の地域人教育の実践を通じた主体的な「課題解決力」の3つを柱とした「地域協創スペシャリスト」を育成している。

飯田OIDE長姫高校10周年

総合ものづくり
高校の魅力多彩に

全日制は、機械工学、電子機械工学、電気電子工学、社会基盤工学、建築学、商売の計6科。機 械工学は設計、製図、加工、材料などを学び、産業界を担う機械技術者を育成する。電子機械工学は情報技術の学びを専攻し、電子機器の設計や開発、制御や情報技術を学ぶ専攻に対応するものづくり人材を育成。電気電子工学は情報通信、電子回路、制御、電力の4つを柱に総合力を培う。社会基盤工学は、安全安心な土木構造物の技術工、材料などを学び、産業界を担う総合技術者を育成する。建築学は、2級建築士や2級建築士資格の取得を目指す。地域人教育の取り組みとして、商業は、簿記や情報処理の取得を目指す。地域をフルに活用する。商業は、簿記や情報処理の取得を目指す。地域をフルに活用する。商業は、簿記や情報処理の取得を目指す。地域をフルに活用する。

人気の
テックレンジャー

コンピューター制御部の「高校戦隊テックレンジャー」は飯田下伊那地域では知られた存在。子どもたちの人気もあつく、若者の社会貢献活動をたたえる内閣府の2018年度「未来をつくる若者・フューチャー」では県内初の総理大臣賞を受賞している。



人気のテックレンジャーショー

2010年度に旧飯田工業高校電子機械科3年生の課題研究で「FBPマスクの製作」に取り組んだことが始まり。工業の「Technica」にちなんで「テックレンジャー」と命名し、全校課題研究発表会でショーが披露された。13年に同校を飯田長姫高校が統合して現在の飯田OIDE長姫高校になった。2010年度に旧飯田工業高校電子機械科3年生の課題研究で「FBPマスクの製作」に取り組んだことが始まり。工業の「Technica」にちなんで「テックレンジャー」と命名し、全校課題研究発表会でショーが披露された。13年に同校を飯田長姫高校が統合して現在の飯田OIDE長姫高校になった。

- OIDE長姫の10年の歩み**
- 2013(平成25)年度 4月・総合技術高校として飯田長姫高校と飯田工業高校が統合 開校式
 - 2014(平成26)年度 6月・開校記念式典
 - 7月・レール復活 活線踏切 量社会 基盤工学 科
 - 1月・マイコン カラー全国大会優勝(電気部)
 - 2015(平成27)年度 4月・工業、商業の大学科を超えた学科間連携学習の始まり
 - 8月・伝統野菜を使った料理を詰めるお重を披露(商業科)
 - 2016(平成28)年度 7月・現場の最新技術であるトータルステーション、GPS測量を学ぶ(社会基盤工学科)
 - 10月・定時制の文化祭「組婚祭」(7月)とは別に開催
 - 2017(平成29)年度 9月・信州ECOコンテスト ワークショップを建築士会の協力で初めて開催(建築学科)
 - 11月・セルビア大使館で水引の制作交流(商業科)
 - 2018(平成30)年度 4月・制服の導入
 - 11月・テックレンジャー内閣総理大臣賞受賞(コンピュータ制御部)
 - 2019(令和元)平成31)年度 4月・本校初、技能検定木材加工部門2級合格(建築学科)
 - 5月・マイコンカークラブリ初開催(電子機械工学科)
 - 1月・全国商業高校英語スピーチコンテスト全国大会出場

飯田OIDE長姫高校10周年

OIDE長姫高校同窓会が総会

飯田OIDE長姫高校同窓会(須山和彦会長)は6月に通常総会を市内で開催し、統合創立10周年記念事業をはじめ、母校の生徒たちを応援して...



統合後の卒業生を学校推薦理事に

原動機部が11連覇



鈴鹿で3部門を制覇した原動機部

原動機部は、7月に鈴鹿サーキット(三重県鈴鹿市)で開催された「Ben One」シリーズチャレン...

気自動車(車重制限なし)クラスで高校生部門1位(総合3位)と2位(総合4位)、車重制限35kg以上で高校生部門1位(総合1位)に輝いた。

2020(令和2)年度 4月・文部科学省「地域との協働による高等学校教育改革推進事業」プロジェクト型認定校(3年間) 11月・旧飯田工業高校校舎が8年前に風船で飛ばしたカメラ(機材)玉で発見(機械科)

飯田OIDE長姫高校10周年

Table with school history: 飯田工業高校. 昭和21年12月 下伊那郡上郷村立上郷農工技術学校創立(上郷村飯沼3065)...

受け継ぐ「OIDE」精神 飯田の初代校長が引用 O.I.D.E.はImagination, D.E.はDevotion, E.はEffort...

野球部全国制覇 「長姫」の名を轟かせた快挙 「飯田長姫」の名を轟かせた快挙 日本中に知られた...

飯田長姫高校 大正10年5月 長野県飯田職業学校(飯田町立)設立許可...



甲子園で全国制覇を果たした長姫ライン

電気工事士

前期試験 19 人合格

2023年(令和5年) 10月7日 土曜日

南 信 州 新 聞

休日返上の努力が結実

OIDE
長姫高校

電気工事士に19人合格

飯田OIDE長姫
高校の電気電子工
科と電気機械工学
科の1〜3年生19人
が、国家資格の第2

種電気工事士
試験に合格し
た。休日返上
の努力が実つ
た生徒たちは
7日、松原均
校長に合格を
報告した。

と毎週末の模擬試験
を通して知識の定着
を図り、5月の学科
試験に合格。続いて
7月の技能試験に向
り組み、資格取得を

合格報告を受けた
松原校長は「大変だ
ったということは何
分が頑張った証拠。
今回の努力が今後の
進路やキャリア形成
に役立つのは間違
いない」と祝った。

合格した電気電子
工学科2年の横田紗
穂さん(16)は、職
業に関わらず生活
の中で役立つ資格と
思っ

「挑戦を通して学ん
だことを学校生活に
生かしていきたい」
と話した。

学科試験には53
人、技能試験には26
人が挑戦。1年1
人、2年13人、3年
5人の計19人が合格
した。

生徒たちは
4月から約2
カ月間、オン
デマンド学習

資格で、筆記
試験と技能試
験の両方に合
格する必要が
ある。

内電気配線工
事に従事する
ために必要な

第2種電気
工事士は、屋
内電気配線工

事から約2
カ月間、オン
デマンド学習



電気工事士試験に合格した生徒たち



統合創立 10 周年記念式典開催

南信州新聞

2023年(令和5年)10月9日 月曜日

統合創立10年の節目祝う 記念式典と生徒発表

飯田OIDE長姫高

飯田市の飯田OIDE長姫高校は7日、飯田工業と飯田

長姫の両校の統合から10年の節目を祝う記念式典を飯田市高羽町の飯田文化会館で開いた。

在校生やOB、OGら約1300人が出席。記念式典、生徒発表の2部構成で行った。

会から贈られた吹奏楽用にアレンジされた校歌の楽譜を使い、息の合った演奏をホールいっぱいに



吹奏楽用に編曲した校歌を演奏する吹奏楽部

生徒発表は、生徒が自ら内容を企画し制作に取り組んだ。10年の歩みを編集した動画をスクリーンに投影したり、部活動の紹介と活動内容、近年の活躍ぶりを紹介したりした。

最後に登場した吹奏楽部は、統合10周年を記念し同窓会から贈られた吹奏楽用にアレンジされた校歌の楽譜を使い、息の合った演奏をホールいっぱいに

掲載記事提供: (株)南信州新聞社

地域と共に歩む新たな時代へ

飯田OIDE長姫高等学校 統合創立10周年記念式典

7日に開かれた飯田OIDE長姫高等学校の統合創立10周年記念式典で、実行委員長を務めた須山和彦同窓会長は「リニア中央新幹線や三遠南信道の開通を見据え、これからの大きな未来都市を支え、地元へ貢献できる学校となつてほしい」と期待を込めた。

記念品として同窓会から学校に校歌碑、校歌を吹奏楽用に編曲した楽譜、10人乗りワゴン車の目録の贈呈があり、松原均校長は「教育効果が上がるように大切に使用させていただきたい」と感謝の言葉を述べた。

続いて開かれた生徒発表では、全国大会を連覇した実績を誇る原動機部や、コンピュータ制御部員が演じるテックレジャアの地域貢献が評価され内閣総理大臣賞が贈られたことなどが紹介された。

また、今年の県高校総体と7人制大会を制したラグビー部はユニホーム姿でステージ上へ。ラインアウトを披露し会場を沸かせると、これから迎える全国高校ラグビーフットボール大会(花園ラグビー場)の出場権獲得に向けた決意も語った。

同校は2013(平成25)年に飯田長姫高校と飯田工業高校が高校再編により統合し、県内初の総合技術高校として誕生。全日制は機械学、電子機械工学、電気電子工学、社会基盤工学、建築学、商業の6学科があり、定時制には普人超。

通、基礎工学が設置されている。10年間の卒業生は2800人超。

統合創立10周年 新時代へ



飯田文化会館で開かれた統合創立10周年記念式典



2023 Ene-1 MOTEGI GP

「エネルギーとモビリティの未来をつくる、次世代エネルギーモータスポーツ」

開催日：2023年10月15日 開催場所：モビリティリゾートもてぎ

KV-40 単3充電電池 40本で動く



手作りの『電気自動車』

3輪以上の車体に動力源となる単3充電電池40本と、モータを載せた車体をドライバーが運転する。小さな車体や機器・部品は市販されていないため、手作りとなる。

KV-Moto 単3充電電池 40本で動く



自転車を改造した『電動自転車』

2輪の車体は、市販自転車のフレームを使用し、20インチ以上のリムホイールを組み合わせ製作する。空力のことを考え、ライダーたちは前傾姿勢で運転を行う。

■ 開催カテゴリー・クラス

KV-40、KV-Moto とともに、共通のカテゴリー分けで、総合順位、クラス順位が決定する。

	開催クラス	車両規則	乗員重量
Div1	a: 一般 b: 大学・高専・専門 c: 高校 d: 中学	・車両重量規則なし	53kg 以上
Div-Next	b: 大学・高専・専門 c: 高校 d: 中学	・最低車両重量規則あり KV-40 : 35kg 以上 KV-Moto : 15kg 以上	b: 55kg 以上 c: 53kg 以上 d: 47kg 以上

※車両・乗員重量に満たない場合、競技に応じたバランスウェイトの搭載を行う

■ 競技内容

今大会は悪天候のため KV-40、KV-Moto とともに、「決勝レース」のみ行われた。大会結果は、「決勝レース」の順位によるポイントで決定する。

「決勝レース」

決勝レースでは、各競技・カテゴリーに応じた時間の耐久レースを行う。

KV-40 Div-1 : 60分
KV40 DivNext : 45分
KV-Moto 各 Div : 30分



■ 飯田 OIDE 長姫高校 原動機部 2023 大会結果

KV-40 Div1		KV-40 DivNext	KV-Moto DivNext
WISDOM a	WISDOM	WISDOM II	WISDOM - BIKE
高校生部門：4位 総合：6位	高校生部門：3位 総合：5位	高校生部門：2位 総合：3位	マシントラブルにより リタイア

リニア開通の未来へ

生徒がメッセーjジまとめる

飯田 OIDE 長姫高

独自の人材育成プログラムを実践している飯田OIDE長姫高校で13日、1年生が国語科目で取り組み組んできたテーマ「リニア開通による将来の飯田下の伊那のまちづくり」のまとめの会があった。

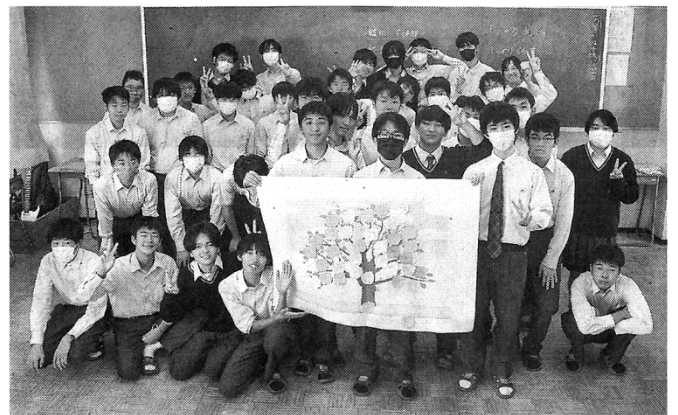
生徒一人一人がまちづくりへの思いを発表した。井上ひさしの小説『ナイン』から、高度経済成長期から1980年代にかけての東京の町並み、コミュニケーションの変化を読み解き、リニア

開通後の飯伊に重ねた。どのような未来を予想するか「どんな未来にしたいか」を考えた。この日は1年C組の約40人が、それぞれの描く未来像を発表。将来プログラムミングの仕事に就く夢を持つ澤柳楓さん(15)

は「情報技術や先端技術が進んだまちなれば、地域がより発展すると思う」と語り、環境を重視する久保田広優さん(16)は「地球温暖化防止の先頭を行く近代都市を目指してほしい」と発表した。飯田市の伝統工

芸水引や人形浄瑠璃、人形劇フェスタ、JR飯田線の秘境駅、焼き肉のまちなどを取り上げ、地域独自の伝統文化や特色を強みに交流人口の拡大につなげ、地域を発展させたいと考える生徒が多かった。豊かな自然を残しつつ駅周辺は地元の特産を扱う店、商業施設や会社誘致で近代化を進めたい「先進モビリティで安全なまちづくりを」とする意見もあった。

発表後は市リニア振興課がワークショップで使用したリンゴの木の模造紙を使い、それぞれの思いを記したリンゴ型の付箋を貼り付けた。



発表を終えた生徒たちと完成したリンゴの木

1年生国語授業 地域協創学習

リニア開通後の未来を語る



歴史に学び平和を考える

OIDE 長姫高

飯田OIDE長姫高校の生徒2人が14日、駒ヶ根市の料理店で開かれた「カフエde平和ゼミナール」に参加した。地元赤穂高校の卒業生と平和について対談などし、過去の戦争の歴史から、どうすれば平和な世の中が築けるかなどを一緒に考えた。

長姫高は「地元の歴史を継承し、地域に疎開した、秘密戦のための兵器や資材を研究開発する組織「第九陸軍技術研究所」(通称・登戸研究所)の歴史を調査研究し、後世に伝える活動を展開している駒ヶ根市の「登戸研究所調査研究会」が主催。登戸研究所の実態を明らかにしてきた赤穂高平和ゼミナール卒業生との対談後、OIDE長姫高は「地元の歴史を見つめ、今を考える」満蒙開拓の歴史と、学生記者派遣アメリカ取材報告」と題して発表した。

商業科2年の原瑞稀さんは「戦争は目に見えない物や人を見えなく、目に見えないところでも心の感情を失ってしまふことがある。過去の戦争の歴史、現在も続いている戦争に学び、戦争はやってはいけないことを伝える活動をしていきたい」と発表。同2年の鶴田悠真さんは4年ぶりに開催された今夏の「中高生記者米国派遣」に参加した取材経験から平和への思いを語った。ロシアとウクライナによる戦争や、イスラエル地域での紛争など絶えぬいが、歴史を学び平和を考えることが大事。軍事国家のアメリカでも平和を一番に考えている人はたくさんいる。こうした意識を持つ人が増えることで平和的解決や根本的解決に向

駒ヶ根の平和ゼミに参加



平和ゼミナールに参加した飯田OIDE長姫高の生徒(写真中央)

かつていくと考える茶を飲みながら気軽に平和について考える」などと語った。ゼミナールは、おてもらう機会、2019年に赤穂高校平和ゼミナールがベリナル料理店「カナン&アンサンテ」で開いたのがはじまり。今回は4年ぶりだった。店主の小笠原一博さんは青年海外協力隊の活動から現在NPO法人ハンズグラハートを立ち上げて支援を続けている。「人と人が違いを認め合い、助け合って暮らしている社会をつくるため、歴史の教訓に学び、平和について考える良い機会になった」と話していた。

平和ゼミナールで 平和への決意と想いを語る

掲載記事提供: (株)南信州新聞社

テックレンジャー 鼎切石区文化祭に出演

2023年(令和5年)10月20日 金曜日

南信州新聞

第3種郵便物認可

6

飯田市鼎切石区

文化祭&秋まつり

多世代が楽しめる多彩な催し

飯田市鼎の切石会館で22日、「切石文化祭&秋まつり」が開かれる。作品展示やステージ発表、飯田OIDE長姫高校コンピュータ制御部「高校戦隊テックレンジャー」ショーなど、子どもから大人まで楽しめる催しが盛りだくさん。実行委員が主催する。午前10時～午後5時。

スローガンは

「元氣な切石づくり」

これまで子ども向けに開く秋へ移行、初めて文化祭催じていた同地区の夏まつりと同時開催する形をとって、幅広い年代に楽しんで



子どもから大人まで楽しめる催しを用意している(2021年の夏まつり)



「テックレンジャー」による「ショー」の模様(取材中)

盛りだくさんなプログラム

文化祭展示は午前10時から

児童の作品、鼎中学校PTAによるAによる生徒の作品を並べ、写真と書道、手芸の各クラブによる日頃の成果を披露した展示もある。自治会役員の見学は初の試み。盆舞や絵巻など、思い思いの作品を持ち寄る。同10時から「モチモチカー」では「カレーソフトクリーム」飲み物を販売する。正午からは飲食屋台が並び、鼎壮団切石支部がフランクフルトと焼きそば、缶ジュース、飯田商工会議所鼎支部切石支会が焼き鳥とおでん、五平餅、生ビールなど、鼎勤労協切石支部がわたがしを販売する。

もろおと、飲食ブースや企画などだに計画

文化祭への来場者数の増加を掲げて準備してきた。

同じく正午から飯田市消防団15分団が消防車を展示、席席に座ったり、写真を撮ったりできる。午後2時30分は「テックレンジャー」のショーが行われる。午後1時10分～午後10分は、飯田OIDE長姫高校コンピュータ制御部による「高校戦隊テックレンジャー」がやってくる。ショーに続いて撮影会もある。文化祭ライブ発表は同2時10分～4時半。トリム体操、三味線、時、カラオケの4団体がステージを展開する。同2時10分からの「風船ロケット」を作った「飛ばそうー」は3時半まで。

22日

掲載記事提供: (株)南信州新聞社

地域と共に 夢と創造 虹の学校 飯田OIDE長姫高等学校

ラグビー準決勝快勝

決勝は飯田高校と

2023年(令和5年) 10月24日 火曜日

南 信 州 新 聞

決勝は15年ぶり飯伊勢対決へ

高校ラグビー 県予選 O長、飯田が準決勝を突破

花園につながる第103回全国高校ラグビー大会県予選は21日、準決勝2試合を飯田市総合運動場で行い、飯田OIDE長姫と飯田が決勝に駒を進めた。シード校のOIDE長姫は2年連続、飯田は3年ぶりの決勝進出。飯伊勢が決勝でぶつかるのは15年ぶりとなる。決勝は11月3日に長野市のウスダシームで行われる。

2013年の学校 野牧が前半13分、同 総合後では初の花園 26分にトライを挙げ 出場を目指すO長 て主導権を握ると、 は、決勝を見据えて 後半は4トライで突 サインプレーやモー き放し、合同チーム ル攻撃を隠して試合 を相手に34-8で快 を進めた。初戦だっ 勝した。 たためか序盤はミス 勝した。 が目立つも、CTB が体調不良で出場で

2013年の学校 野牧が前半13分、同 総合後では初の花園 26分にトライを挙げ 出場を目指すO長 て主導権を握ると、 は、決勝を見据えて 後半は4トライで突 サインプレーやモー き放し、合同チーム ル攻撃を隠して試合 を相手に34-8で快 を進めた。初戦だっ たためか序盤はミス 勝した。 が目立つも、CTB が体調不良で出場で

2013年の学校 野牧が前半13分、同 総合後では初の花園 26分にトライを挙げ 出場を目指すO長 て主導権を握ると、 は、決勝を見据えて 後半は4トライで突 サインプレーやモー き放し、合同チーム ル攻撃を隠して試合 を相手に34-8で快 を進めた。初戦だっ たためか序盤はミス 勝した。 が目立つも、CTB が体調不良で出場で



2年連続で決勝進出を決めたOIDE長姫



得意のモールで押し込む飯田



小林監督は前半3分に先制を許したこととで「強みのモールでシンプルに戦うよう切り替えた」と説明。「身体が大きな選手が多く、きっちりとした形を作れば押し切れる自信はあった」と話した。現在部員は17人で、3年生は2人のみだが、今年は中学でラグビーを経験した1年生が多く加入した。決勝に向けて鈴木主将は「昨年負けた相手に勝って勢い付いた」と力を込め、小林監督も「春(県高校総体)は大敗した相手だが、若いチームの伸びしろで下馬評をひっくり返して花園に行きたい」と語った。

掲載記事提供: (株)南信州新聞社

飯田 47 (26) 21 | 10 | 14 | 24 試合
OIDE 34 (22) 15 | 5 | 3 試合
長姫 22 | 10 | 14 | 24 試合

11月3日 長野県大会決勝

祝 優勝

飯田OIDE長姫 28 対 24 飯田

商業科生、羽場文化祭で縁日を企画

多彩な催し盛り上がる

羽場地区祭 高校生が縁日初企画



OIDE長姫生が子ども向け縁日を初企画した

飯田市羽場地区の文化祭が28、29の両日、羽場公民館と羽場中央公会堂で開かれた。4年ぶりに飲

食が復活。作品展示や芸能発表など多彩な催しに多数の住民が参加した。羽場地区で課題研

究をしている飯田OIDE長姫高校商業科3年生が参加し、親子連れの来訪者を増やしたいと子ども

温かさを感じた。自分も住む地域を大切にす大人になりた

29日には飯田市赤十字奉仕団羽場分団が炊き出しを行い、

向けの縁日モノでは射的や輪投げ、ヨーヨーが演奏し、羽場獅子舞保存会が祝舞を披露した。約10年続く西中生徒とまちづくり委員会との座談会も開催。西中が取り組むSDGsを中心に、地区に関して意見を自由に話し合い「住民と西中のコミュニケーションに活用しては」との声が上がっていた。館内では小中学生や地域サークルの作品を展示。丸山小150周年記念パネルも飾った。

おにぎりや豚汁を振る舞い、羽場セントラルパーク周辺では38回目となる駅伝大会もあった。実行委員長の佐々木祥二公民館長は「地区を挙げて多くの住民に協力していただき、多彩な行事が開けた」と感謝し「コロナ禍以降個人の展示発表が少なくなっているが、今後増えていくのを期待したい」と話した。